

子どもは地域の宝だ！ 結ぶぞ「ナナメの関係」

事業のねらい

今、子ども達に求められているのは、「ナナメの関係」である。

学級や学年の同じ年代の子ども達の関係が「ヨコの関係」、先生や親などが「タテの関係」なら、地域のおじちゃんやおばちゃん、地域のお姉ちゃんやお兄ちゃんも「ナナメの関係」。時にはちょっといい加減なこと言うけれども、おせっかいなこともするけれど、少し離れた関係だからこそ、子ども達が安心して、心を許したり、友達関係で疲れた心を癒したり、逃げ場になったりできる。

そんな「ナナメの関係」をこの育成協議会の中につけていきたい。

そのためには、さまざまな活動を一緒に取り組み、互いを知り合うことが、まずは、はじめの1歩であり、一番大切なことであると考えます。

メッセージ具体化 POINT1

事前の企画から当日の運営まで子ども達に任せること。

七夕夏祭りでは、小中学生の実行委員会を立ち上げました。事前に3回の話し合いを行い、司会やあいさつの担当、ゲームの中身や賞品などを考え、準備しました。

メッセージ具体化 POINT2

多くの大人、他校の友達とふれあう機会を多く作ること。

キャンプのグループは、3校の子ども達を混ぜて作ります。大人の担当もできるだけわが子のいないグループにします。

そのグループで、役割分担を決め、できるだけ大人の力を借りずに活動を行います。

メッセージ具体化 POINT3

保護者のみならず、地域の方々へも参加を呼びかけること

説明会を行ったり、地域の掲示板にポスターを掲示したりして、多くの地域の方の参加を呼びかけます。

事業の内容

第25回 七夕まつり

- 9:30 開会式
- 10:00 イベント(エイサー・バトン演技)
- 10:50 みんなで楽しくゲーム!!
- 11:30 七夕飾りを作ろう!
- 12:00 自由時間 昼食(露店開店)
- 13:00 風船に短冊をつけて飛ばそう!
- 13:20 お楽しみ抽選会
- 13:40 閉会



事業の成果と課題

<成果>大人と子ども達とともに活動を行うことによって、お互いの顔を知ることになった。行事が終わってからも、地域で会うとあいさつができた、声かけができた、している。

少しずつ「ナナメの関係」は、できつつあると考えている。

<課題>ふれあいサマーキャンプはここ数年、毎年違う場所で行っている。準備は大変だが、新しい活動を行うことができている。

しかし、七夕まつりはすでに25回を数えている。マンネリ化する前に活動内容を検討したいと考えている。また、小中学生の実行委員の選び方についても検討していきたい。

第9回ふれあいサマーキャンプ

- 1日目: フィールドグループワークゲーム
野外調理(カレー)
キャンプファイヤー
- 2日目: 川遊び
女神大橋を歩いて渡ろう